

◆ 読書会 ◆

第1回	5月18日(月)	【テーマ】フリー(私のおすすめ本) 今読んでいる本、友達に薦めたい本のレビュー
第2回	7月24日(金)	【テーマ】『ライオンと魔女』(C.S.ルイス著) ナビゲーター: 図書館長・文学部教授 藤本朝巳先生
第3回	12月15日(火)	【テーマ】もう少し前に出会いたかった本

◇ 第1回読書会 ◇

報告 音楽芸術学科1年 匿名

5月に行われた第1回読書会。テーマは特に定めませんでした。各自の今読んでいる本や友達に勧めたい本を持ち寄り、紹介し合いました。

私達1年生は初めてのイベントでしたので、始めは楽しみな気持ちが半分と不安な気持ちが半分でしたが、どの本の紹介もその本を読みたいという気になる語りで、楽しむことができました。本の紹介をすることはとても緊張しましたが、持ってきた本の魅力を伝えられるよう努力しました。

今回紹介された本は『最後のパレード:ディズニーランドで本当にあった心温まる話』『カラフル』『浜村渚の計算ノート』『ドラキュラ』『聖なる黑夜』『獣の奏者』『レアリア』『龍のすむ家』『食堂かたつむり』『しかけのあるブックデザイン』『まってる。』『フランス人は10着しか服を持たない:パリで学んだ“暮らしの質”を高める秘訣』です。

普段は同じ作者さんだったり同じようなジャンルの本だったり狭い範囲でしか本を読んでいませんでしたが、この読書会を通して新たに本を知ることができてよかったです。これを機に読書会で紹介された本だけではなく、違うジャンルの本にも挑戦してみようと思いました。そして自分が知っていた本についての紹介でも聞いていると、自分とは違う視点の感想もあり、新たにその本の魅力に気づくことが出来たのがよかったです。

新しい本を読んだり、読んだことのある本でも読み返したりしようと思える良い機会だなと思いました。



第1回読書会

◇ 第2回読書会 ◇

報告 図書館 森園佳子



ポスター作成：図書館

第2回読書会は今年度の活動テーマに合わせて、2006年に映画でも公開され話題となった『ライオンと魔女』をテーマとしました。

参加者は事前にそれぞれ作品を読み、映画のDVDを見て読書会に集まりました。図書館長である文学部教授の藤本朝巳先生にナビゲーターをお願いしたため、昼休みという短い時間にもかかわらず、ファンタジー文学が19世紀半ばにイギリスで起こった背景や、ナルニア国シリーズ7冊の最初の作品である『ライオンと魔女』についてわかりやすく解説していただけて、とても内容の濃い読書会となりました。集まった参加者もファンタジー好きの人が多かったため、先生の話に真剣に耳を傾け、メモを取っていました。

藤本先生によると、第一作目の『ライオンと魔女』のなかに、その先のシリーズで起こる物語の伏線が描かれているそうです。それを聞いて、シリーズの続きの作品もいずれ読書会で取りあげてみたいと思いました。



第2回読書会

◇ 第3回読書会 ◇

報告 国際交流学科2年 藏田香織

第3回読書会は「もう少し前に出会いたかった本」を紹介しました。『君たちはどう生きるか』吉野源三郎著、『あさきゆめみし』大和和紀著、『小僧の神様』より「清兵衛と瓢箪」志賀直哉著、『永遠の0』百田尚樹著、『分身』東野圭吾著、『アルケミスト：夢を旅した少年』パウロ・コエーリョ著。ネットで評価を見て読んで



第3回読書会

みた人から、自分で出会った人まで色々でしたが、中には「もしもう少し早く出会っていたら人生は全く違う方向に動いていたかもしれない。」という意見も出ました。

本を読むことがあまり得意ではない人は、単に自分にとって運命の本に出会っていないのではないのでしょうか。本屋に行って何が大変かって、膨大な蔵書の中から飽きない本を探すことだと思います。

POPの役割は素敵な本への道しるべ。ならば私たち読プロの役割はたくさん本からエッセンスを抜き出して紹介することで、その人にとって運命の本を探すお手伝いができるのではないかな。本には人生を変えるような大きな力が込められている。そんな風にたくさんの人に伝えていけたら幸せだなと思う会でした。

